

朝霞市議会
請願第 7 号
平成28年 11月18日

請願書

件名：介護職員の処遇改善を求める意見書採択を求める請願

紹介議員

斉藤 弘道

朝霞市議会議長様

2016年11月18日

医療生協さいたま朝霞和光支部
支部長 村田とき子
朝霞市根岸台2-15-71

介護職員の処遇改善を求める意見書採択を求める請願

超高齢社会を迎え、介護ニーズが高まるなか、サービス提供を担う介護職員を確保することは重要な課題です。低賃金・重労働という処遇の問題から離職率が高く、人材確保が難しい状況にあります。

国は、平成21年10月から処遇改善の取り組みとして、介護職員処遇改善交付金制度を実施し、平成24年度介護報酬改定では、介護職員処遇改善加算として平成27年3月31日まで継続してきました。

しかし、平成27年度の介護報酬改定では、介護職員処遇改善加算は強化されたものの、基本報酬が引き下げられたため、賃金の引き下げや非正規職員への切り替えなど、処遇の悪化が心配されます。

厚生労働省は、平成37年には37.7万人の介護人材が不足すると推計していますが、人材不足は地方自治体の介護施策にも深刻な影響を与えることから、自治体としても看過できない問題です。

安全・安心の介護を実現するため、介護職員の処遇改善を求める意見書を国に提出することを求めます。